令和八年度　成田市立成田小学校　経営方針

【不易】

《校訓》

自主創造

自己を理解する、自分の考えをもつ、自ら行動し責任をもつ
豊かな感受性をもつ、よさを見出し生かす、挑戦する、やり抜く

《学校経営目標》

**働きやすさ、機能しやすさの具体化を進め
教育効果を高める**

【流行】

《学校教育目標》

**自分の考えをもち
よりよく行動し
共に学びを広げる児童の育成**

重層的な組織を整備し、個と集団の力を発揮する ／ 教育効果と業務の適正さを熟考し、業務改善を推進する

教育課程

運営）学校教育目標具現化に全ての教育活動が一貫し整合する
内容）各調査結果から実態の改善・向上事項を明確にし、指導計画を工夫改善する
子供の主体的な学び、学校の機能を生かした集団の学び、双方を活性化する
地域・家庭の教育力との協働・連携を目指す社会に開かれた教育課程を推進する
組織）教務・研究・教科等主任が機能を発揮し、学校体制で教育を実践する
研究）教育の本質と社会の必要感を見極め、資質・能力を育む学校作りに機能する
研修）キャリアステージの要請、課題から目的を明確にし、職能向上に資する
検証）児童の学力の実態、教員の指導の実態を単年、経年で多面的に明らかにする

学校運営

運営）学校教育目標具現化に全ての業務が一貫し整合する
人員の不足に備え、調整と補完、支援体制に可能な限り留意する
組織）分掌とその系統に基づき、情報共有と連携を基本に、重層的に機能する
分掌）キャリアステージ、意欲・技能・実行力に基づき、育成と能力開発を図る
改善）作業の重複解消、継続性を加味して教育効果を高める合理化、効率化を図る
気風）目的を共有し、自ら行動し、建設的に協議・協働する
危機管理）規則(マニュアル)・運用・点検の適宜更新、複数管理・記録の徹底
連携・協働）目的の共有、家庭・地域・関係機関のリソースの開拓・活用

コト 業務

小学校教育のエキスパートとして自負心をもち、研究、研鑽、実践に励む ／ 家庭・地域の教育力とつながり、分担と協働を進める

ヒト 人材

教職員

〇在るべき教職員の姿
使命）子供の学び続ける力を育む責任と崇高さを自覚し、自らを律する
職能）社会と教育のつながりを捉え、自己理解と研鑽に励み、貢献する
組織）自ら力を発揮し、同僚の力を生かし、目標に向かって連帯する
健康）仕事と家庭の調和を図り、心身共に健全さと活力を保つ

※道徳性、倫理観、法令遵守
※自然・伝統・文化等普遍的価値観
※国際理解、国家観、人間観
※感受性、創造性、表現力
※人間関係形成・調整力
※論理的・批判的思考力、洞察力
※自己調整、持久力、自己研鑽
※指導力、事務処理能力

家庭

〇人としての基盤を育む
※深い愛情をもって自尊感情を育む
※善悪の判断等の基本的な道徳性、規範意識を育む
※心身の健康を保つ生活習慣・食習慣を育む
※一番身近な大人の姿から、自立への展望を育む
〇家庭教育と学校教育の共通歩調促進

地域

〇人との関わりの基盤を育む
※地域の連帯や協働の輪の中で社会性の伸長
※交通安全、防犯・防災等の安全・安心の確保
※地域行事を通した伝統・文化の営みの理解
※地域の特色を生かした体験の機会の提供
〇地域人材活用の開発（地域コーディネーターの機能化）

モノ 物資

学びやすく働きやすい、安全で衛生的な環境とツールを整備する

備品

〇教育方針・経営方針に最適化した整備計画
〇校舎改築を見通した整備調整
〇子供の学ぶ力を伸ばす教材・教具の選定
〇活用しやすい配置・管理（ラベリング・リストアップ等）
〇学校情報システム、校務支援システムの活用促進
〇教育効果と費用対効果から見た運用状況の評価

施設・設備

〇教育方針・経営方針に最適化した整備計画
〇校舎改築を見通した整備調整
〇定期、適時の安全・衛生点検に基づく適切な修繕
〇適正な使用、前後の安全確認の徹底
〇整頓、清潔感、季節感、活動の足跡に留意した環境作り
〇市教育委員会との情報共有、共通理解、連携

カネ 財務

費用対効果と教育効果を勘案し、円滑な運営に資する

設計

〇教育方針・経営方針に照らし必要性、優先順位の調整
〇教育効果と費用対効果を踏まえた設計
〇校舎改築を見通した財務調整
〇学校徴収金の現金取扱削減
〇安全で合理的な会計処理システムの運用体制
〇執行・管理全般に係る評価に基づく改善

執行・管理

〇事務主任の機能の最適化による執行・管理
〇全職員の財務に係る理解と規律、執行力の向上
〇時期に留意した適正な予算執行、事務手続きの徹底
〇公正な手続きに基づく事業者選定、発注、取扱等
〇事務手続きの適時処理、定期点検、複数管理
〇教育効果と費用対効果から見た運用状況の評価

《何ができるようになるか》

主体的に判断し　変化や多様さに柔軟に対応し　自他の持ち味を活かし合い　共に幸せな人生をつくる

令和八年度　成田市立成田小学校　教育方針

《学校教育目標》

流行

自分の考えをもち　よりよく行動し　共に学びを広げる児童の育成

《目指す児童の姿》

自己）自分で考え、粘り強く取り組み、次に向かって振り返る　　公共）自分の持ち味を発揮し、友達のよさを活かし、共に学校生活をつくる

自他）違いを理解し、互いを大切にし、心と言葉で関わり合う　　伝統）受け継がれてきたもののよさを見出し、よりよく次に引き継ぐ

※総合的な学習の時間

身近な生活や環境、地域社会に問いをもち、答えのない課題を追究する活動をとおして、学習したことを生かして主体的に取り組み、多様な他者と協働するよさを理解し、目的に向かって納得解を見

国語	日本語の豊かな表現に触れたり用いたりしながら言語感覚を磨き、国語で正確に理解し、表現する力、豊かに味わい伝え合う力を	音楽	思いをもって音楽を表現する技能を身につけ、音楽活動の楽しさを体験することをとおして、社会の中で音楽と豊かに関わる
社会	地理的環境や歴史、社会との関わりや仕組みを理解し、多角的に考え、社会の一員として主体的に問題解決しようとする態度を育	図工	表現や鑑賞の活動をとおして、感性や想像力を働かせてつくりだす喜びを味わうとともに、生活の中の色や形などと豊かに関
算数	数量や図形などの基本的な性質を理解し、身近な生活を数理的に捉え筋道をたてて考察して、理解したり問題解決に生かし	家庭	豊かで実りある生活を送るための土台となる知識や技能を身につけ、よりよい日常生活に向けて生かしたり工夫したりする力
理科	自然界を学び認識を広げることをとおして、主体的に問いと向き合い、多様な考えを生かしながら、科学的に理解し明らかにする	体育	めあてを考え、やってみて、振り返るサイクルをとおして、意欲と技能の向上を図り、運動に親しむ心と体力を保つ実践力を育
生活	体験的な活動をとおして、身近な人、社会、自然の特徴やよさに気付くとともに、自分の関わり方について考えたことを表現す	英語	英語によるコミュニケーションに慣れ親しみ、言語や文化の理解を深め、相手意識をもち、主体的に自分の考えや思いを伝えようとする態度を育む。

※特別活動

集団生活の中で自分の役割とその責任、協力を理解して行動することを学び、多様性をもつ社会で自立して生きるための基礎となる社会性、自己管理能力、問題解決力、協働力、他者への共感、理解

※保健

生涯を通じて心身の健康をよりよく保つため、基本的生活習慣など保健衛生の大切さを理解し、自ら判断して実践できる

※安全

生活に伴う様々な危険を理解し、命を守る知識・技能及び実践力を身に付けるとともに、予防や助けるとともに、予防や助け

《学びを生かし・伸ばす能力・人間性・技能》

自己）自分自身に
主体性・自尊感情・粘り強さ・自己調整・メタ認知・楽観性

自他）他者との関わりに
誠実さ・寛容さ・共感性・感情調整

公共）集団の連帯、貢献に
協調性・行動力・責任感・柔軟さ・コミュニケーション能力

伝統）人の営みの価値のつながりに
好奇心・感受性・想像力・普遍的価値観

《学習の基盤》**自分の問いをもつ・よりよい学び方・考えるための技法　／　言語能力・課題発見解決能力・情報活用能力・批判的思考力**

キャリア教育

《育む力》

「他者との関わりを通して、自分らしさに気づき、自らのよりよい生き方を考える力、それに向かって学びを生かしていく力を育む。」

《視点》

・各指導計画への基礎的・汎用的能力育成の明確化と体系化の促進
・地域社会を生かした教材開発
・中学進学を見通した系統指導（小中連

特別支援教育

《育む力》

「障害のある子供が自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加するために必要な力を培う。」
「障害のある子供とない子供が、共に活動する中で、互いを正しく理解し、支え合い、助け合って生きていくことの

《視点》

・教育的ニーズ把握→実践→検証→改善サイクル
・特別支援教育の機能の標準化（スタンダード）

道徳・人権教育

《育む力》「多様な価値観を尊重し、関わり合いの中で自律的に判断しよりよく行動する実践力と、自己を見つめ、他者と共によりよく生きる心を育む。」

「人が等しくもつ権利を理解して　自分の大切さと共に他の人の大切さ

《視点》
・各指導計画への道徳性・人権感覚育成の明確化と、体系的な実践
・話し合い活動の充実、学習と生活をつなぐ振り返りの活用
・心を豊かにする体験の重視を家庭・地域と共有、連携

生徒指導

《育む力》「自分を適切に理解し、他者を尊重して関わり合うことをとおして、自分の能力や個性のよりよい伸長に取り組み、自らを調整したり、改善したりする力を育む。」　→　自己指導能力の育成

《視点》
・多面的な児童理解を図り、自己実現を支援し自尊感情を高める指導
・生徒指導の機能の標準化（スタンダード）
・情報の管理、多視点による状況判断、体系的な組織の機動力

《校訓》 **自主　創造**

自己を理解する、自分の考えをもつ、自ら行動し責任をもつ
豊かな感受性をもつ、よさを見出し生かす、挑戦する、やり抜く

不易

家庭の教育力　深い愛情が育む自尊感情　／　道徳性・規範意識の基盤（善悪の判断・ルール・マナーなど）
心と体の健康を保つ生活と食の習慣　／　一番身近な大人の姿から自立への展望

地域の教育力　地域の連帯や協働　／　地域の交通安全、防犯、防災
地域の伝統や文化の営み　／　地域の特色を活かした